

「農業イノベーション大賞 2022」開催要領

2021年11月
農業情報学会

1. 目的

農業は、最も長い歴史を有する産業であり、人類の生存の基盤となる産業である。従来も何度か革新を経験してきた産業でもあるが、AIやIoT等の情報通信科学技術、ゲノム編集や遺伝子組み換え等の生命科学技術の急速な発展により、現在、大きなイノベーションの萌芽がいくつも現れている。

そこで、「農業イノベーション大賞選考委員会」を組織し、農業分野におけるイノベーションに貢献する実践的活動を表彰し、研究活動との交流をさらに活性化させ、さらに農業のイノベーションを促進する。

2. 選考対象

農業イノベーションに貢献する実践的活動を行っている企業・団体・個人を対象とする。

3. 対象と基準

賞の名称は、「農業イノベーション大賞」とし、以下の活動を対象とする。

- (1) 従来の農業分野における「常識」にとらわれない、将来性のある斬新な発想に基づいた実践的な活動を行なっていること。
- (2) 情報・知識・ノウハウや情報通信技術ICTの活用を行っていること。

また、選考に際しては、以下の基準による。

- (1) 農業イノベーションへの貢献度
- (2) 発想、活動、技術の独自性、新規性
- (3) 農業における実現性、普及可能性
- (4) 社会へのインパクト、アピール力

具体的には、以下の3分野を対象とする。

1) ビジネスモデル(Business Model)

次世代の農業の先駆けとなる新しいビジネスモデルを発案・実践する活動

2) 新技術(Technology)

次世代の農業を支える新技術の開発・導入・普及を行う活動

3) 教育・人材育成(Education & Personnel training)

次世代の農業に貢献する人材の育成・活用を行う活動

4. 今後のスケジュール(予定)

1) 2021年11月～2022年2月、学会公式Webサイト(<https://www.jsai.or.jp/>)の他、共催機関、協賛企業等を通じて募集する。2022年3～4月に受賞者の選考・決定し、表彰式・講演会への出席依頼を行う。

2) 農業情報学会大会中に、情報利用・普及部会および農業・農村イノベーション部会が主催するオーガナイズドセッションOS「農業イノベーション大賞 受賞者講演」を開催し、表彰式、受賞者等講演、関連企業展示を開催する。

日時：2022年5月21日(土)～22日(日)

会場：コロナ禍を考慮し、オンラインでの農業情報学会の大会を開催し、オンラインによる表彰となります。

5. 実施体制(予定)

■農業イノベーション大賞選考委員会

農業情報学会(担当：情報利用・普及部会、農業・農村イノベーション部会)が、共催機関および協賛企業の協力を得て、「農業イノベーション大賞選考委員会」を組織し、「農業イノベーション大賞」の募集および選考を行う。

■共催機関（予定）

趣旨に賛同して「農業イノベーション大賞選考委員会」の活動支援（募集告知、推薦、選考、経済面での支援の少なくとも何れか1つ）を行う非営利団体を共催機関（以下予定）という。募集要項や大会要旨集に共催団体名などを掲載する。

- ・ 公益社団法人日本農業法人協会（<https://hojin.or.jp/>）
- ・ 一般社団法人日本経済団体連合会（経団連、<http://www.keidanren.or.jp/profile/pro001.html>）
- ・ 一般社団法人 全国農業会議所・全国農業新聞（<https://www.nca.or.jp/about-us/chamber/>）
- ・ 一般社団法人日本食農連携機構（<https://jfaco.jp/>）
- ・ 一般社団法人ALFAE（アジア・太平洋 食・農・環境情報拠点、<https://alfae.org/>）

■協賛出展企業団体等（募集中）

趣旨に賛同して「農業イノベーション大賞選考委員会」の活動支援（協賛金あるいは出展料を拠出）を行う企業・団体を協賛出展企業団体等という。協賛出展企業団体等は、募集要項や大会要旨集に企業名・団体名や展示内容概要（グレースケール、2頁）が掲載されると共に、農業情報学会大会中に開催する情報利用・普及部会および農業・農村イノベーション部会が主催するオーガナイズドセッションOS「農業イノベーション大賞 受賞者講演」に於いて、農業イノベーションに関わる企業展示（受賞者講演説明資料に紹介資料掲載）を行うことができる。

- ・ ソリマチ株式会社（幹事会社、<https://www.sorimachi.co.jp/>）
- ・ JA 三井リース株式会社（<https://www.jamitsuilease.co.jp/>）
- ・ ユビキタス環境制御システム研究会（UECS 研究会、<https://uecs.jp/>）

■事務局・本件問合せ先

農業情報学会事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4

新共立ビル 2F 株式会社共立 担当：諏訪・齋藤

TEL 03-3551-9891（代表） FAX 03-3553-2047

E-mail: sec@jsai.or.jp

■本件農業情報学会担当部会

農業情報学会（<https://www.jsai.or.jp/>）

情報利用・普及部会

部会長 平石武 <hiraisi@mail.sorimachi.co.jp>

副会長 長命洋佑 <chomei@agr.kyushu-u.ac.jp>

■受賞者の概要

受賞者の概要については、農業情報学会 Web サイトをご参照ください。

<https://www.jsai.or.jp/年次大会等/農業イノベーション大賞>

また、受賞者のより詳しい内容については、現在、『農業および園芸』（養賢堂）連載中「農業イノベーション大賞受賞者の挑戦」です。

https://www.yokendo.com/books/4910073031015_2021-10-01/